

古式にのっとり 上棟祭

秋葉山本宮秋葉神社神門保存
修理工事が進められていますが、
一週間ほど前から続く前線の影
響で雨が断続的に降る八月一八
日に上棟祭が無事に執り行われ
ました。

上棟祭は修祓の儀から始まり、
降神の儀・献饌そして河村宮司
による祝詞奏上が終わると、上
棟の儀に入ります。典儀により
所役と氏名を呼ばれると、呼ば
れた工匠は「オー」と答えて立上
り、小揖して神前に並び上棟の
儀が始まりました。検知役を弊
社会長澤元教哲、棟梁の武田大
将が振幣役を務め

- ・博士杭打ちの儀
- ・曳綱の儀
- ・槌打の儀
- ・鳴弦の儀
- ・散餅散銭の儀

以上のように上棟の儀は恙なく
終了し、最後に玉串奉奠を行い

ました。古式にのっとり正装で行われ
た儀式を、参列していた神社関係者と
工事関係者も見守り、また曳綱の儀で
は参列者が綱を曳き棟が収まりました。



河村宮司による祝詞奏上

コロナウイルスの感染者の増加が著
しくなれば、一般の方にも見ていた
だけと思うので大変残念です。竣工式
の際には盛大にお祝いできることをお
祈り申し上げます。

神門は天保二年に竣工して以来、初
めての全解体修理工事になります。柱

や梁などに書かれた江戸時代の棟梁の
墨書きに意気込みを感じ、そして日本
古来の美しい建築を後世に残すという
使命を果たすべく、工事に取り組ん
でまいります。また工事は令和五年三月
までの長期間になるため、安全第一に
進めていきます。



棟梁を務める武田大将は二九才
これからの宮大工の棟梁としての活
躍が楽しみです。